



幸せの手紙を贈ろう

渡辺先生、山本先生、サム先生、先日は授業を見学させてもらいありがとうございました！

渡辺先生の社会の授業では子供達が四国の県の覚え方の声出しをしていて、とても元気があり飽きないように余談も交えながらの授業がとても印象的でした！

サム先生の English の授業ではグループで話し合っって食べ物の名前を出し合うワイワイ楽しい授業をしていました！

山本先生もすべての授業のサポートをしてくださり、手厚いなあとしみじみしました！そして学校での様子の手紙も嬉しいです！

少し前ですが様々な色に書かれていたクラスのお友達からの手紙がとっても嬉しかったです！

お友達から見た子供の良い所を教えてください心が温まりました！

そして次の日にはどの言葉が嬉しかった？という感想で子供が書いた言葉が友達から読まれたときにはとっても喜んで帰ってきて一番に報告してくれました！

いつも本当にありがとうございます！

ペンネーム「チョコもち」さんより

チョコもちさん、いつもお便りありがとうございます。

授業のご感想、素直にとっても嬉しいです。

山本先生やサム先生の喜ぶ顔も目に浮かぶようです。

お便りの後半に書いてあったのは、きっと「ハッピーレター」のことですね。

先週の学活の時間。

なかまづくりを兼ねて、「ハッピーレター」の授業を行いました。

チャイムが鳴って開ロ一番、次のように言いました。

自分の良いところをノートに思いつく限り書いてもらなさい。

さっと座ったのは、わずかに9名。

他の子たちは、

「えー！」

「いいとこなんか無い。」

「悪いところならあるのに。」

となかなか進まない子たちが結構数います。

もちろん、これは予想通りです。

そこで、次のように付け加えました。

どうしても思いつかない人もいるようなので、そんな時は友だちに見つけてもらいましょう。

例えば、〇〇くんの良いところが発表できる人？

自分の良いところが見つからなくて特に頭を悩ませていた子を取り上げて全体に尋ねてみると、次々発表がなされました。

「優しい」「4年生になってからかっこよくなった。」「あきらめない」「お手伝いをがんばっている」「読書が好き」「あんしょうをがんばっている」「ノートがきれい」「あいさつが元気」「一年生のお手伝いをしてあげていた」「明るい」「おもしろい」「字がきれい」……

他にも、自分以外の子の良いところを発表してもらうことにしました。

「〇〇くんの良いところは～～」「〇〇さんは～～」と発表されるたびに教室に笑顔がこぼれます。

自分の良いところというのは、中々見えにくいものです。

ですから、友だちに見つけて手紙に書いてもらいましょう。

この手紙は、実は魔法の手紙で、書けば書くほど友だちが増えます。

そして何十倍も、何百倍も幸せになります。

「ハッピーレター」といいます。

やり方も説明しました。
とってもシンプルな方法です。

- はがき大の画用紙に、友だちの良いところを書いて届ける。
- 誰かからハッピーレターをもらったら、必ず返事を書く。

説明している途中から、子どもたちはすでにウキウキしていました。

気恥ずかしさも相まって中々書けない子もいるかと思っていましたが、そんなことは全くありません。

良い意味で予想は完全に裏切られました。

二枚三枚と、どの子もたくさんの紙を手に取り、時間一杯幸せの手紙を書き続けました。

そして手紙が届くたび、心から嬉しそうな表情でそれを読んでいた。

圧巻は、子どもたちの手紙の消費量です。

足りなくてはいけないと思い、かなり多目に用意した数百枚の画用紙が、またたく間になくなっていきました。

お互いに良いところを見つけられる。

そしてそれを褒め合える。

受けとった相手の喜ぶ様子を見て、また喜ぶ。

喜び合えたり、認め合えたりすることは、チームの大切な要素です。

それを、チョコもちさんはじめ、お家の方にも一緒に喜んでもらえて、さらに嬉しさが倍増しました。

ハッピーレターの用紙は、また新たに作って教室に用意し、いつでも書けるようにしておく予定です。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

